

# [マイクロソフト ソリューション セミナー]

## ビッグ データ活用にも効果絶大!

### ハイパフォーマンス DB 環境実現の秘策 SQL Server SSD Appliance

「ビッグ データ活用に関心はあるが、現行データベースの処理性能が低く、とてもこの環境でビッグ データ分析までできない」

「データ量やユーザー数の増加にともない、データベースのパフォーマンスが低下している」

このような課題に対して、**Violin Memoryの超高速フラッシュストレージ**を利用したアプライアンス **“SQL Server SSD Appliance”**の適用が有効です。

今回のセミナーでは、データベースのパフォーマンスでお悩みの方や、データベースにかかわるシステム更改を検討している方に向けて、ハイパフォーマンス DB 環境の秘策である SQL Server SSD Appliance について、実証結果、導入手法などを交えてご紹介させていただきます。

本セミナーが、皆様の今後のシステム計画の一助となりましたら幸いです。

#### お申込み

下記URLからのご登録、またはFAX（専用書式）によるご登録を承ります。

<http://aka.ms/0920>

イベント番号：1032560031

#### 日 時

2013年9月20日(金) 13:30-17:00 (13:00 受付開始)

#### 会 場

〒108-0075 東京都港区港南 2-16-3 品川グランドセントラルタワー  
マイクロソフト 品川グランドセントラルタワー 31 階 セミナールーム A

#### 主 催

日本マイクロソフト株式会社

#### 協 賛

日本電気株式会社  
SCSK株式会社

#### アクセスマップ

- JR 品川駅 港南口よりスカイウェイにて直結 徒歩 3 分
- 京浜急行 品川駅より 徒歩 6 分



**SCSK**

夢ある未来を、共に創る。

# スケジュール

時間	内容
13:00	受付開始
13:30-13:35	Opening
13:35-14:05	<p>『マイクロソフトのビッグデータ戦略』            日本マイクロソフト株式会社            サーバプラットフォームビジネス本部クラウド &amp; アプリケーションプラットフォーム製品部            エグゼクティブプロダクト マネージャ 北川 剛</p> <p>日経新聞の紙面にも「ビッグデータ」という言葉が出るようになり、お客様の中でも具体的な検討を行う方が増えてきている状況ですが、実際に「ビッグデータ」をマイクロソフトソリューションでどのように活用することができるのか、どのような効果が期待できるのか、本セッションでは活用事例を交えてご説明します。また、各業種でどのようなビッグデータ活用が行われているのか、マイクロソフトが行った調査集計をもとにご説明します。</p>
14:05-14:40	<p>『SSD Appliance による Big Data 活用、DB パフォーマンス改善の実際』            日本マイクロソフト株式会社            サーバプラットフォームビジネス本部クラウド &amp; アプリケーションプラットフォーム製品部            エグゼクティブプロダクト マネージャ 北川 剛</p> <p>ビッグデータの活用を実際に進めていくうえで、どうしても高速なデータマートが必要になってきます。その具体的な対処策として SSD Appliance をご利用いただくという方法がありますが、こちらのような方法でデータベースの高速化を実現しているのか、その詳細をご説明します。</p>
14:40-14:50	休憩
14:50-15:35	<p>『Express 5800+Violin Memory による SQL Server 高速化ソリューション最新情報』            日本電気株式会社 ITプラットフォーム事業部・製品技術統括 G            エキスパート 鈴木 健一            SCSK 株式会社 ITエンジニアリング事業本部 ストレージネットワークソリューション部            技術第四課 課長 遠藤 秀喜</p> <p>『Microsoft SQL Server SSD Appliance』に採用されている“SCSK/NECのサクサクDBマシン”。ビッグデータ活用に必要な高次元の処理性能と、ミッションクリティカルな環境でも安定稼働をご提供する信頼性についてご説明します。</p>
15:35-16:05	<p>『超高速 "SAP on SQL Server プラットフォーム" の確立に向けた取り組み            ~米国マイクロソフト SAP チームと、Violin Memory による共同検証~』            Violin Memory Inc.            Amir Sharif, Senior Director Technical Marketing 【通訳付】</p> <p>Violin Memoryは、フラッシュストレージレイ市場で世界シェアNo.1ベンダーです。            (※2012年Gartner社調べ)</p> <p>Violinは、米国Microsoftと様々なコラボレーションを展開していますが、『SAP on SQL Server』環境での共同検証には、特に注力しています。今回、その取り組みについてご説明します。</p>
16:05-16:15	休憩
16:15-17:00	<p>『SQL Server 2012 高速化のポイントと Violin フラッシュ ストレージ アレイの適用』            株式会社 CSK Win テクノロジ            技術フェロー特別役員 熊澤 幸生</p> <p>SQL Server が製品化され、19年が経過しました。初期の製品は、エンタープライズ環境の実績は少なかったものの、2000年から提供された、SQL Server 2000 から、基幹系の採用実績も増えてきました。</p> <p>このセッションでは、CPUのメニーコア化、メモリーコストの低下による大容量メモリと NUMA、新しいストレージサブシステムSSDに対して、SQL Server と Windows Server がどのように取り組み、どのような実績を持っているかを、お伝えします。</p>

※上記の内容は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。